MAQ-110　FV46　2026年10月1日発行

LIXIL

ラフィス 室内ドア ライン枠 隠し丁番仕様 Griffberkハンドル仕様 取付説明書

＊MAQ110＊

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠警 告…取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠注 意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠警 告

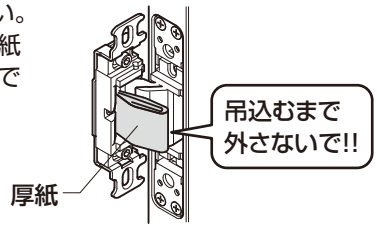
●下記機器をお使いの方は各機器メーカーに磁石の影響をご確認ください。医療機器誤作動のおそれがあります。
（1）体内埋込型機器
（2）生命維持用機器
（3）装着型心電計等

⚠注 意

●ドア本体が脱落しケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・丁番固定ねじはゆるみなく締め付けてください。
・左右調整ねじを調整範囲を超えて戸先側へ回さないでください。

取付け上のお願い

●取付後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
●製品に不具合があった場合は、取付前にお買い求め店までご連絡ください。
●本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。（直射日光があたる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い）
●本体部品の損傷、開閉不良防止のため落下させたり衝撃を加えないでください。
●テープを表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
●ソリ・ねじれ防止のため、立てかけての長期保管はせず、寝かせた状態にしてください。
●損傷および開閉不具合防止のため、本体は建築工事完了後に吊込んでください。
●丁番に挟んである厚紙はドア本体吊込みまで外さないでください。



●開き角度は105°までです。丁番・ドア本体破損防止のため、105°を超えて開かないよう必ずドアストッパーを併用してください。

重要チェック項目

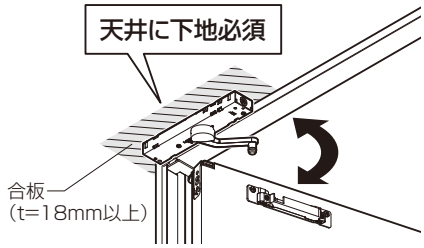
Check!

No.	チェック内容		
1	躯体開口寸法を指定通りにしましたか？（開口寸法公差 +4、−0）		□
2	丁番固定ねじはゆるみなく締め付けましたか？		□
3	左右調整後、ドア本体に対して各丁番内のブロックの出寸法は同じですか？	穴あり ブロック 下丁番	□
4	丁番のカバーは正しく取付けましたか？		□
5	ドア本体が105°を超えて開かないようドアストッパーを取付けましたか？ ※P.15にて開き角度確認		□

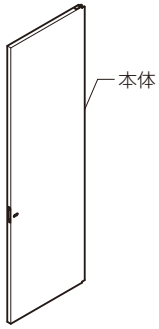
このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

●ドアソフトモーション（オプション）の取付けについて

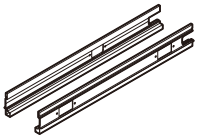
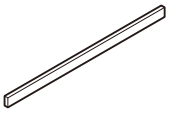
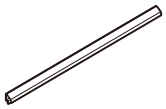
ドアの施工後に取り付けます。
取付位置の天井には必ず下地（合板t=18mm以上）を入れてください。
※詳細はドアソフトモーション同梱の取付説明書参照。



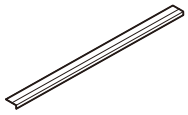
■部品・部材明細

ドア本体


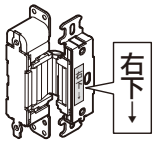
●縦枠部品・部材明細

部材	断面図	数量
縦枠 		2
縦枠カバー材		5
縦枠下地材 		6
戸当りパッキン 		1
縦枠上部ピース	–	2
部品セット	–	1

●上枠部品・部材明細

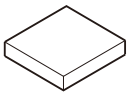
部材	断面図	数量
上枠 		1
上枠端部ピース	–	2
部品セット	–	1

●部品セット明細

名称	数量
丁番 ※どちらにも「下」の表記がありますが 取付向きを示すもので誤りではありません。 	2
本体側取付用 皿タッピンねじφ4×20	8

●別売品明細

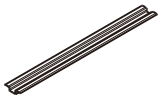
・ハンドルセット

部材	断面図	数量
ハンドルセット 	–	1

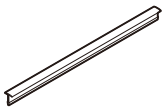
・錠セット

部材	断面図	数量
錠セット	–	1

・埋込沓摺りセット

部材	断面図	数量
埋込沓摺り 		1
溝フタ		1
部品セット	–	1

・薄床見切り

部材	断面図	数量
薄床見切り 		1

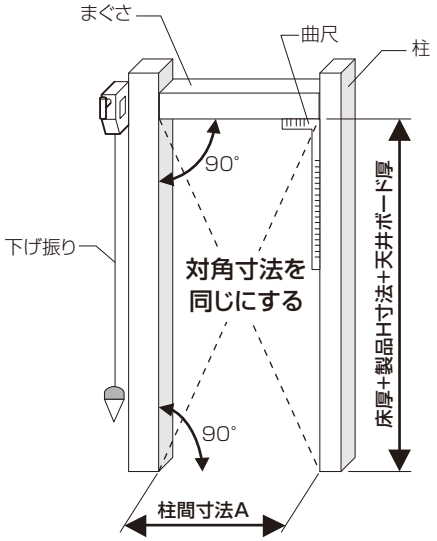
本取付説明書に記載のない別売品の取付けは部品同梱の取付説明書を参照してください。

1 開口部の施工

開口部施工上のお願い

●開閉不良防止のため、以下のことを行ってください。
・柱間寸法公差(＋4、－0)を守ってください。
・幅特寸時は特寸W寸法を確認してください。
・下げ振りを使って柱が垂直になるよう設置してください。
●製品不具合防止のため、全て含水率20%以下の材料を使用してください。
●【軽量鉄骨に施工する場合】
施工不良防止のため、必ず木枠を入れてください。

①柱間寸法Aが下表の寸法になるよう柱を設置してください。
②縦枠現物合わせでまぐさを施工してください。

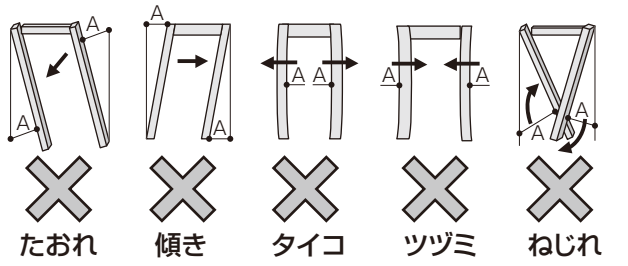


寸法A公差：＋4mm、－0mm

W呼称	枠外W寸法	寸法A
055	648	648
06	734	734
065	754	754
07	805	805
08	824	824
09	868	868

※特寸時はそれぞれの枠外寸法を確認してください。

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、製品不具合につながります。



たおれ	傾き	タイコ	ツヅミ	ねじれ
A寸法 2mm以内	A寸法 1mm以内	A寸法 1mm以内	A寸法 1mm以内	A寸法 1mm以内

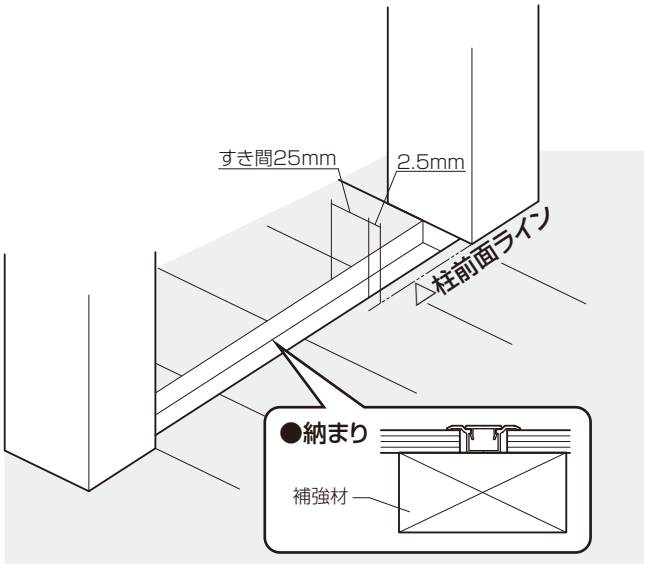
2 床の施工

床施工上のお願い

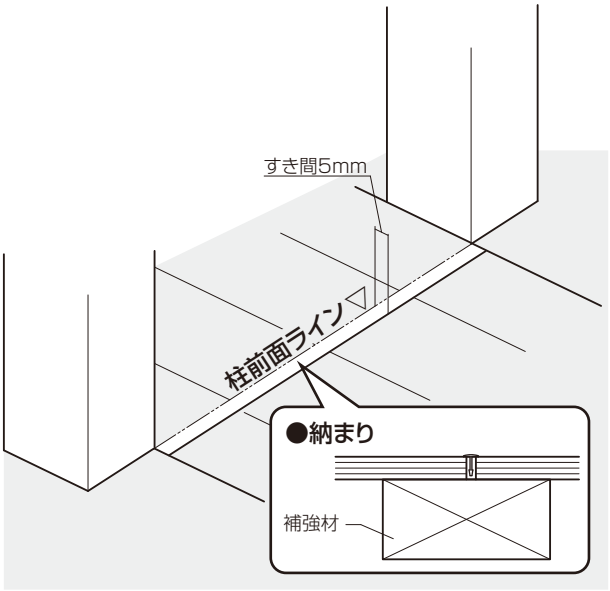
●下枠を正しく施工するため、床を見切る場合は以下を守ってください。
・指定の位置で見切ってください。
・補強材を入れてください。

●床を見切る場合は下図の位置にすき間をあけて床材を張ります。

■埋込沓摺り



■薄床見切り



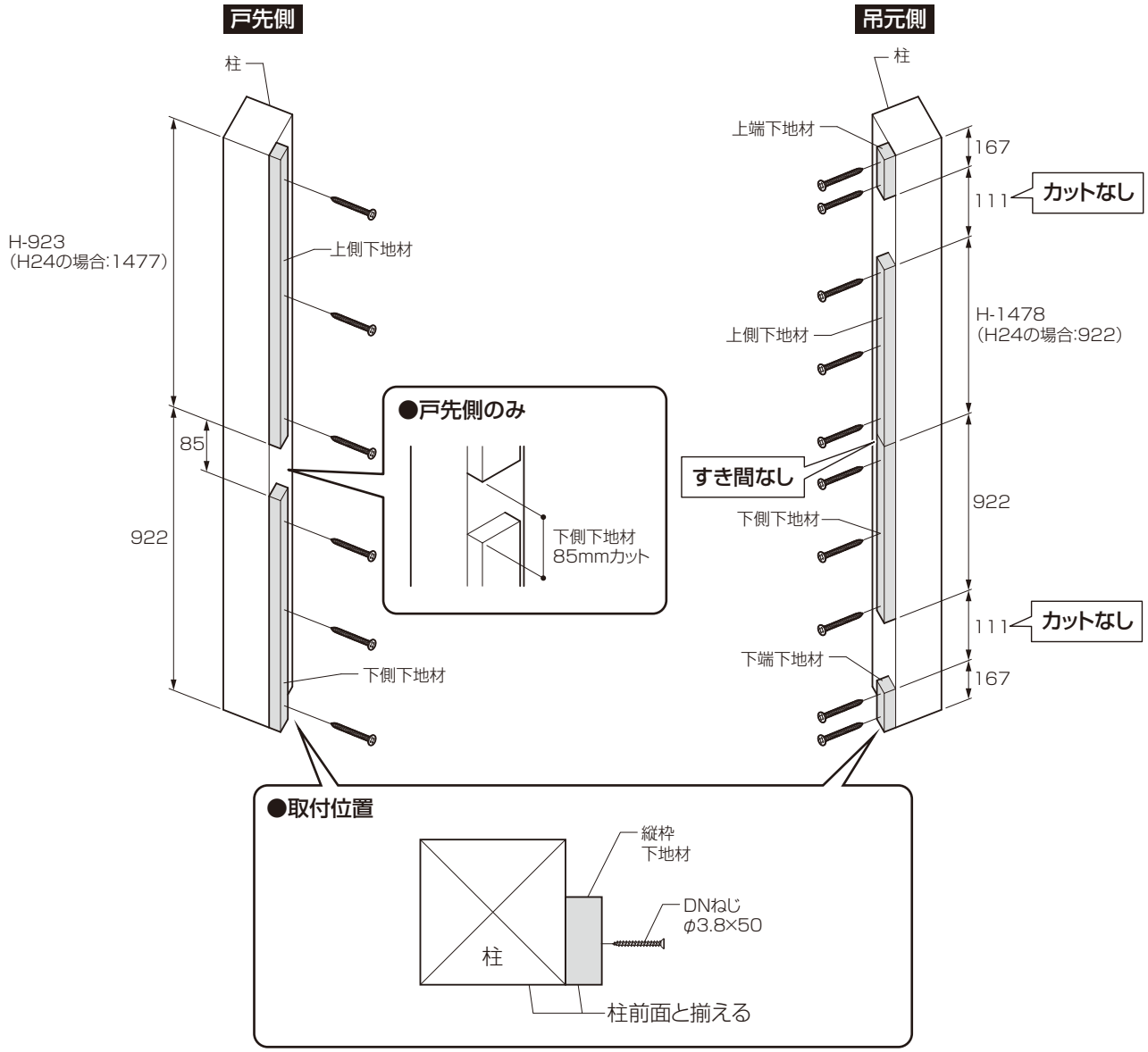
3 縦枠下地材の取付け

縦枠下地材取付け上のお願い
●縦枠を正しく施工するため、取付前に下地材長さを確認し、上側・下側を間違えないでください。

①柱の前面に合わせて922mmの下側下地材を柱にねじで固定します。
②戸先のみ、上側下地材を42mm切断してください。
③柱の前面に合わせて上側下地材をねじで固定します。戸先の上側下地材は下側下地材と42mmあけてねじで固定します。

■縦枠用部品セット

部品名	数量
DNねじ φ3.8×50	16

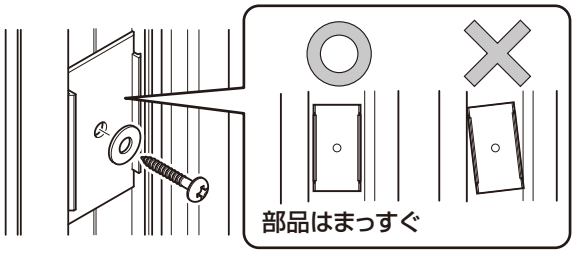


※縦枠の躯体固定ねじ穴と重ならない位置で固定してください。

4 縦枠の取付け

縦枠取付け上のお願い

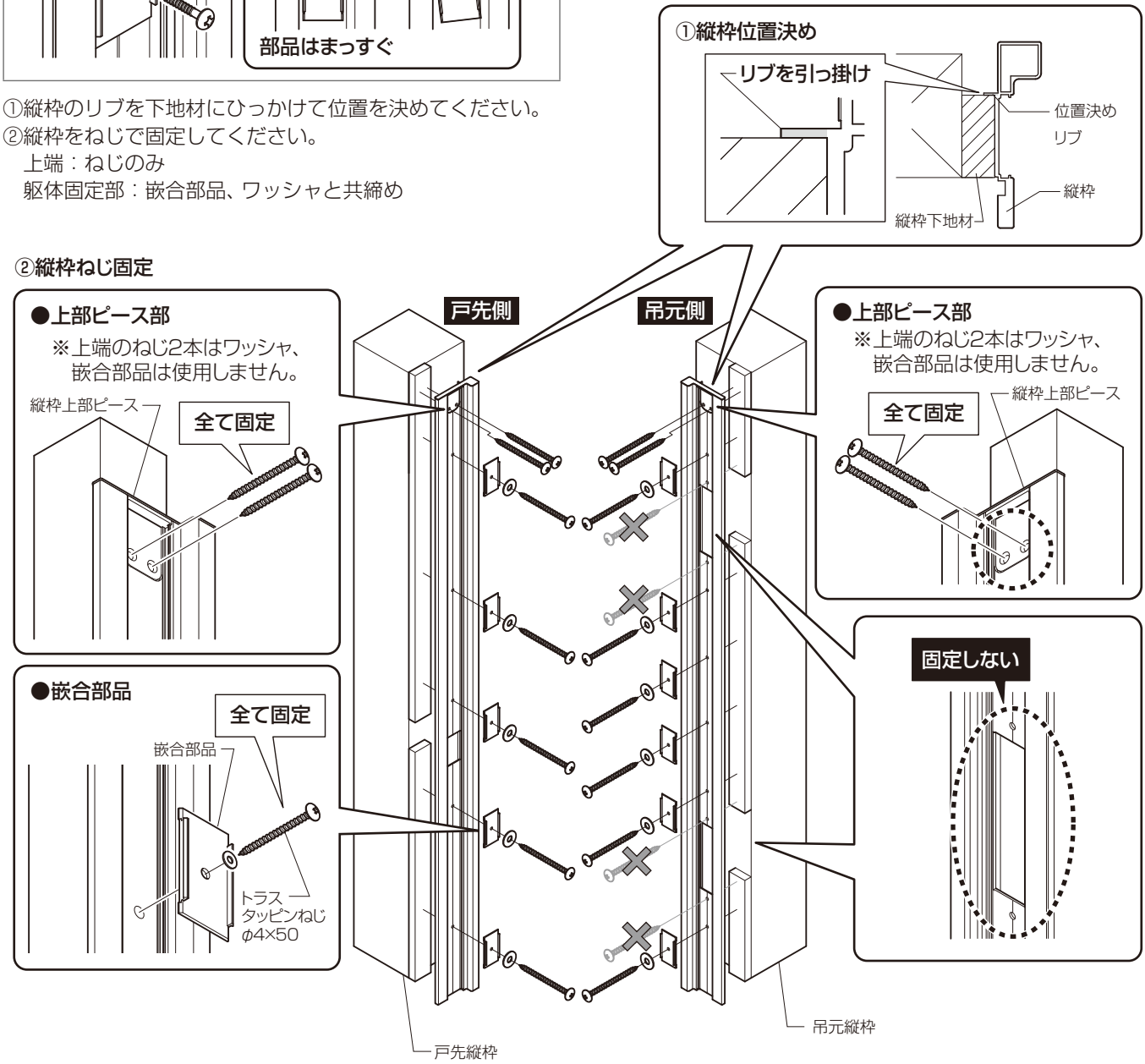
●縦枠カバー取付不良防止のため、嵌合部品はまっすぐ取り付けてください。



①縦枠のリブを下地材にひっかけて位置を決めてください。
②縦枠をねじで固定してください。
　上端：ねじのみ
　躯体固定部：嵌合部品、ワッシャと共締め

■縦枠用部品セット

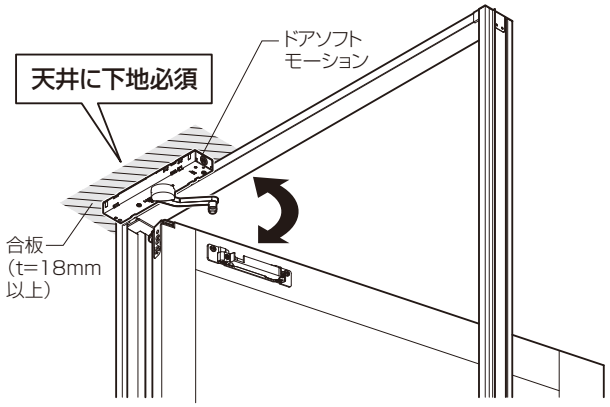
部品名	数量
トラスタッピンねじ φ4×50	15
ワッシャ	11
嵌合部品	11



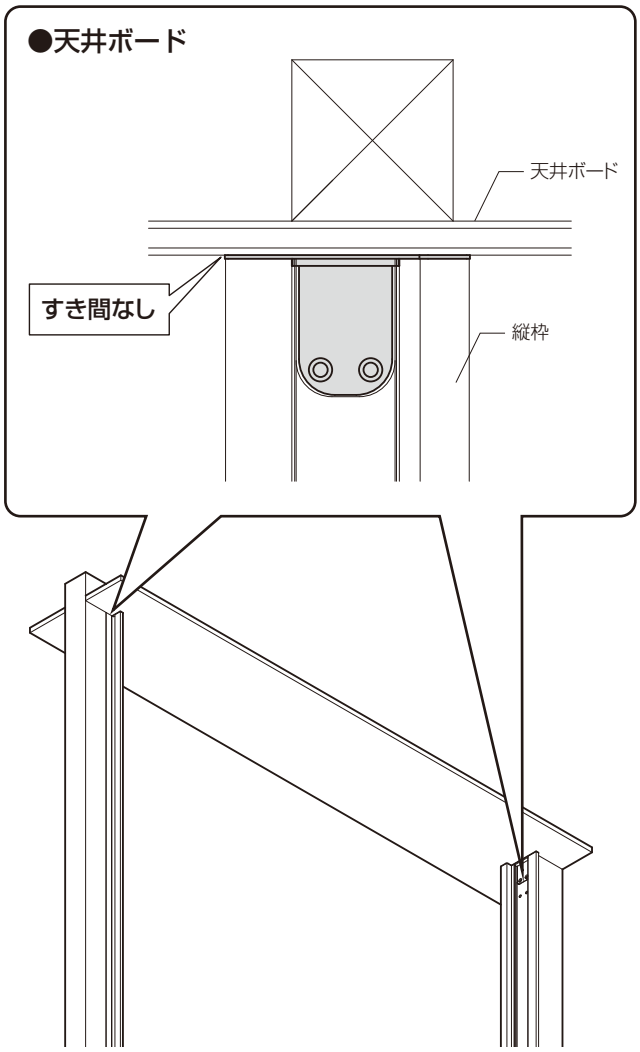
5 天井ボードの施工

天井ボード施工上のお願い

●外観不良防止のため、天井ボードは縦枠に合わせてすき間ができないように施工してください。
【ドアソフトモーションを取り付ける場合】
●部品を固定するため、取付位置に合板t=18mm以上の下地材をいれてください。



●縦枠との間にすき間があかないよう天井ボードを取り付けてください。



6 上枠の取付け 三方枠仕様時のみ

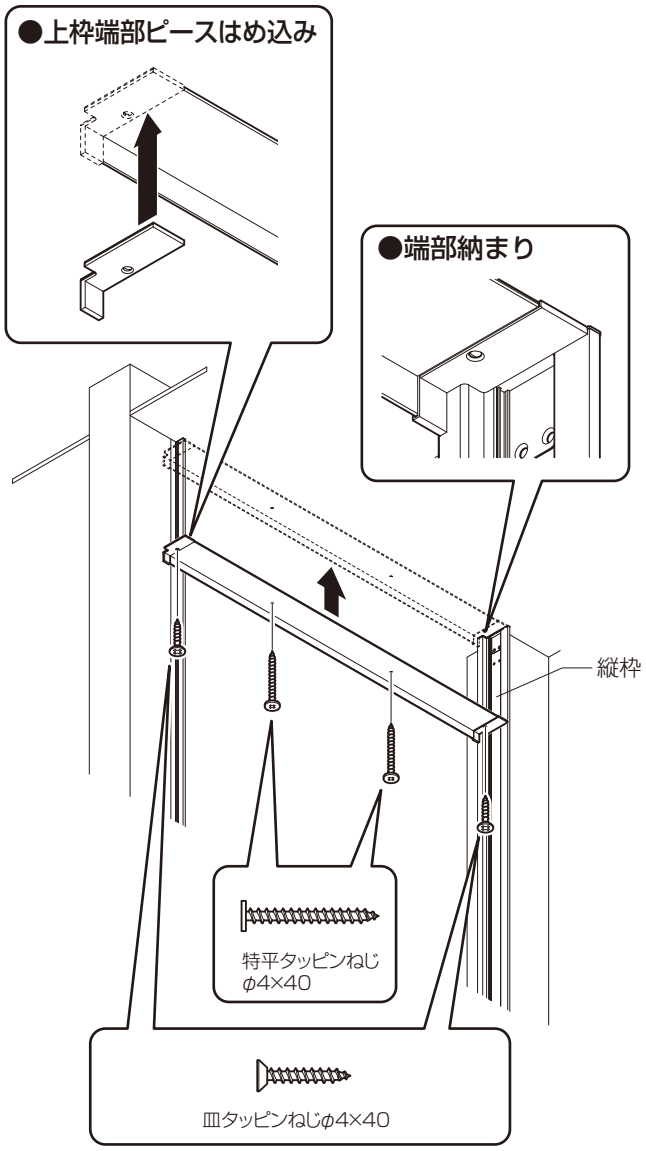
上枠取付け上のお願い

●上枠を正しく取り付けるため、先に天井を施工してください。

①上枠端部ピースを上枠にはめ込みます。
②上枠を指定のねじで固定します。端部は指定のねじで上枠端部ピースと共締めします。

■上枠部品セット

部品名	数量
皿タッピンねじ φ4×25（26年10月以降長さ40mmに順次切替）	2
特平タッピンねじ φ4×35（26年10月以降長さ40mmに順次切替）	3 （1本は予備）



7床見切り材の取付け

【埋込沓摺りの場合】

埋込沓摺り取付け上のお願い
●部材の変形防止のため以下のことを守ってください。 ・埋込沓摺りの下に必ず補強材をいれてください。 ・溝フタは一度はめ込んだら取り外さないでください。

①埋込沓摺りを同梱のねじで固定します。
②当て木をし、溝フタが均一になるまでたたき込んでください。

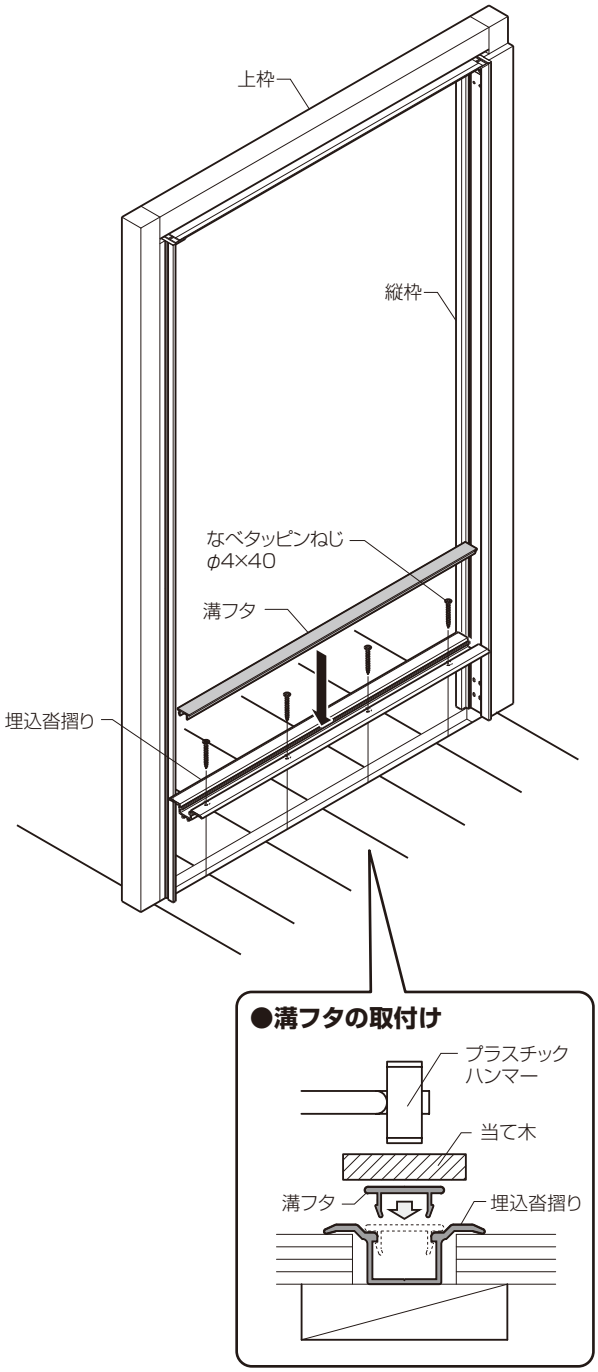
■埋込沓摺りねじセット

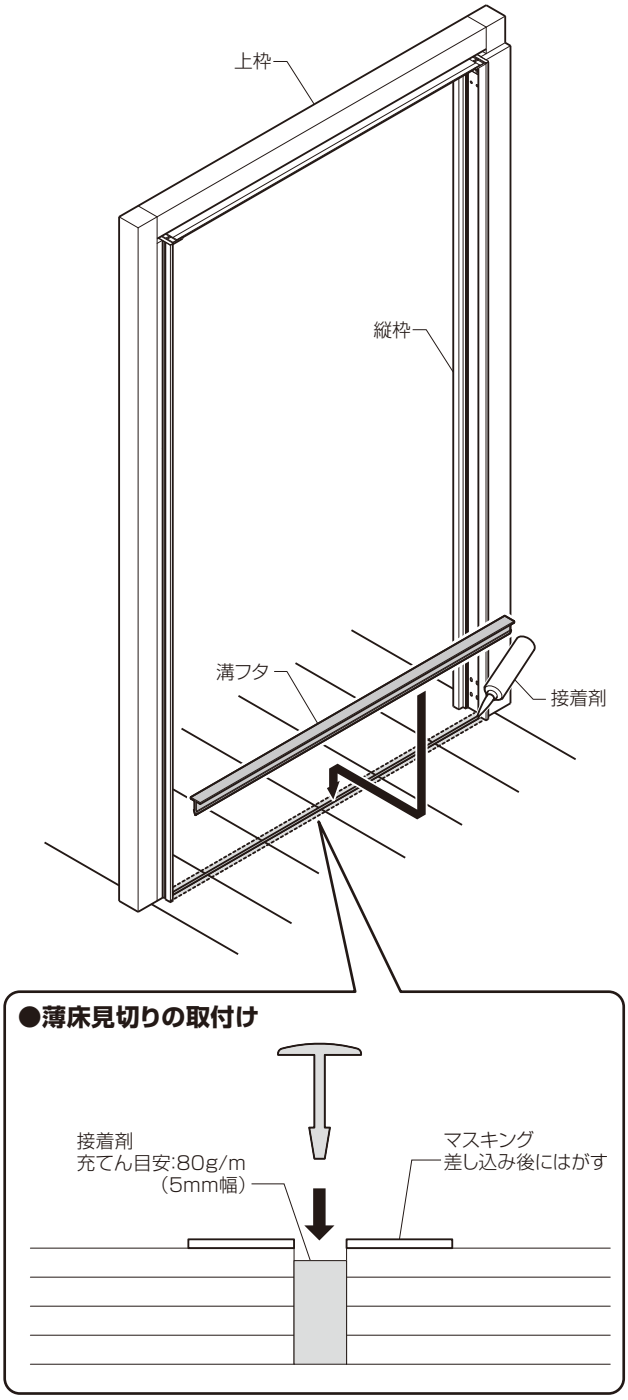
部品名	数量
なべタッピンねじ φ4×40	4

【薄床見切りの場合】

薄床見切り取付け上のお願い
●薄床見切りのはがれ防止のため、下記事項をお守りください。 ・２液タイプのエポキシ樹脂接着剤(現場手配)を使用してください。(硬化時間30分以上) ・１mあたり約80gの接着剤を充てんしてください。 ●床の汚れ防止のため、必ずマスキングをして接着剤を充てんしてください。

①床のすき間の両側にマスキングをし、エポキシ樹脂接着剤(現場手配)を充てんしてください。
②床見切り材を差し込み、マスキングをはがしてください。
※はみ出た接着剤は必ずふき取ってください。





8 縦枠への部品取付け

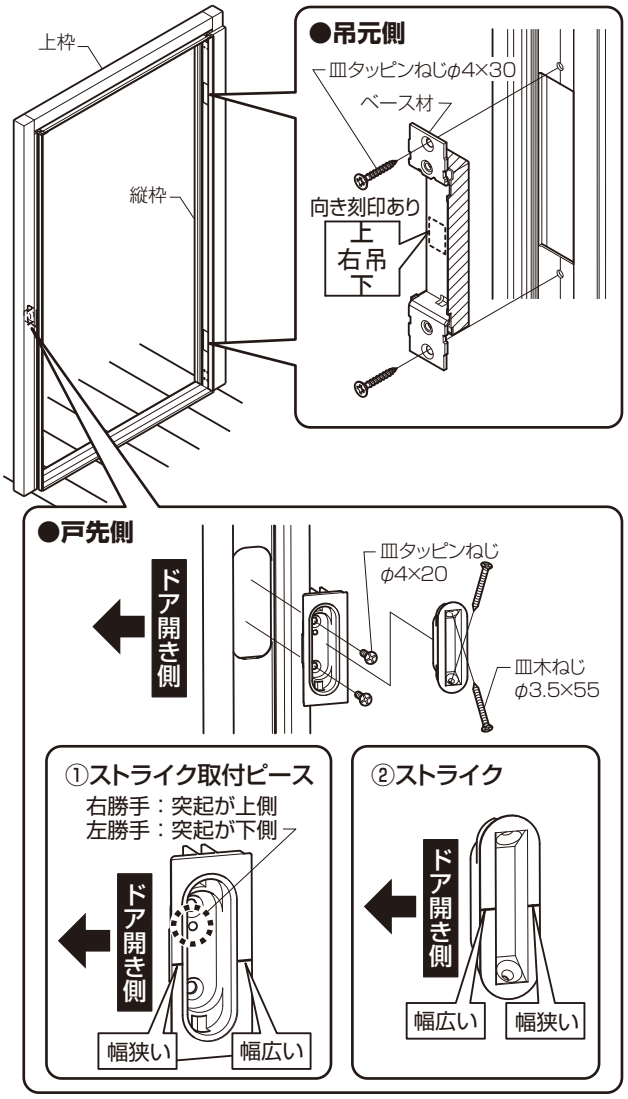
縦枠への部品取付け上のお願い

- ●施工不良防止のため、ベース材は正しい向きに取り付けてください。
- ●開閉不良防止のため、ラッチ受けは正しい向きに取り付けてください。

①ラッチ受けを同梱のねじで固定します。
②枠側丁番を丁番セットに同梱のねじで固定します。

■縦枠用部品セット

部品名	数量
ストライク取付けピース	1
皿タッピンねじφ4×20	2
ストライク	1
皿木ねじφ3.5×55	2
ベース材	2
皿タッピンねじφ4×30	4

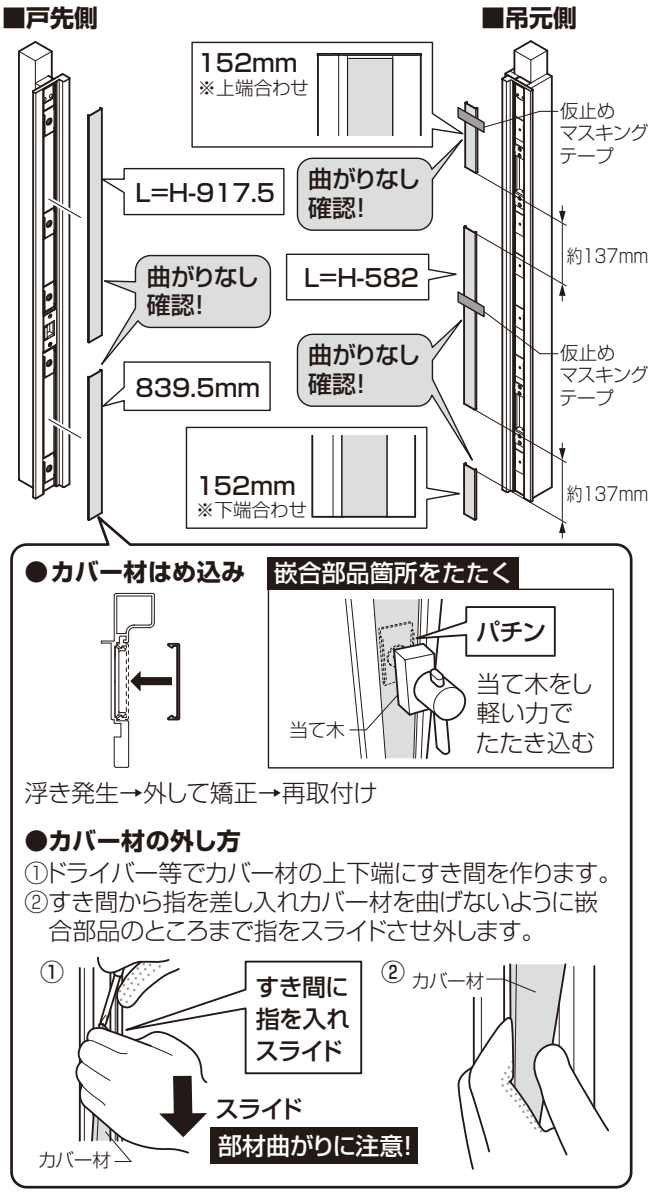


9 縦枠カバー材の取付け

縦枠カバー材取付け上のお願い

- ●浮き防止のため、縦枠カバー材に曲がりがないか確認して取り付けてください。
- ※曲がっている場合、手でまっすぐに戻してから取り付けてください。

①カバー材の寸法と取付位置を確認し縦枠にはめ込みます。
※吊元カバー材はベース材部に約137mmのすき間を空けて取り付けてください。
※吊元のカバー材はめ込み後、本体吊込みまでマスキングテープなどで仮止めしてください。
※カバーに浮きがある場合、曲がりがありますので一度取外し、カバーをまっすぐに矯正して取り付けてください。

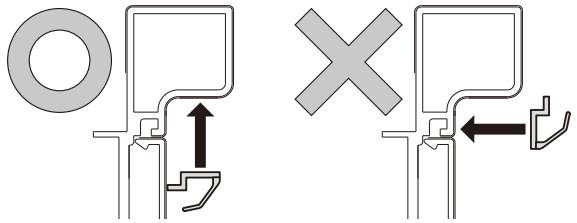


ラフィス
室内ドア ライン枠
縦枠カバー材取付け
&取外し方法

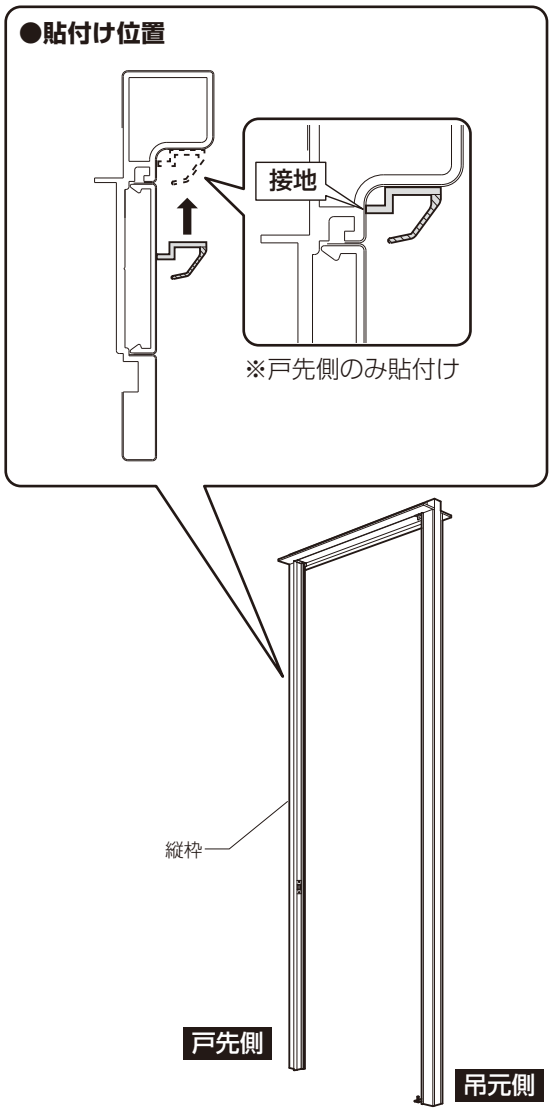
10戸先戸当りの貼付け

戸先戸当り貼付け上のお願い

●戸当りはがれ防止のため、貼付け面の汚れや油分を除去してから貼り付けてください。
●扉の開閉不良防止のため、戸当りは本体表面が当たる面に貼り付けてください。



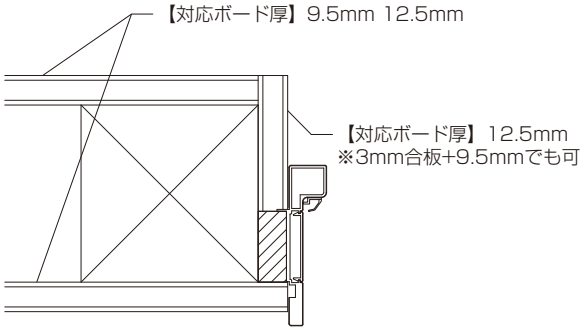
①戸当りを戸先側縦枠の長さに合わせてカットしてください。
②貼付け面の汚れや油分を除去してください。
③戸当りのリケイ紙をはがし、戸先側縦枠に貼り付けてください。



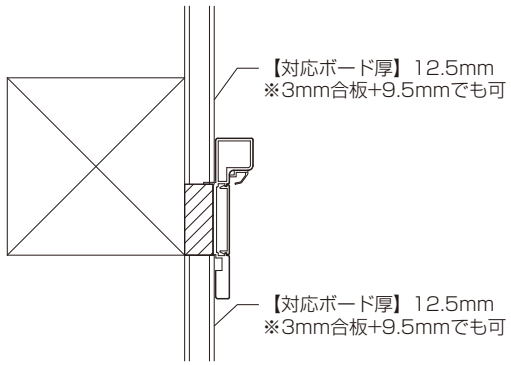
11壁面ボードの施工

●以下の配置で壁面ボードを施工してください。

平入納まりの場合



両入隅納まりの場合



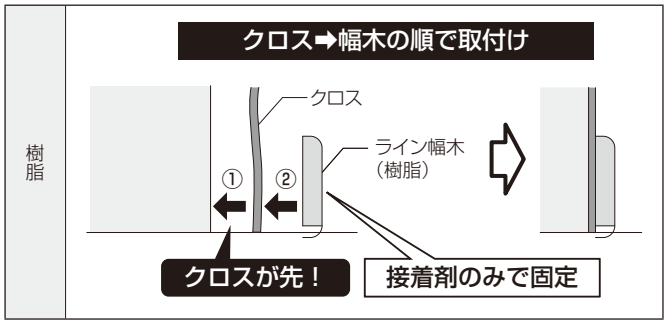
⑫ライン幅木の施工

ライン幅木施工上のお願い

●ライン幅木(樹脂)がはがれるので、必ず壁紙の上からソフト幅木用接着剤(※)で張り付けてください。
※ビニル共重合系溶剤形、アクリル樹脂系エマルジョン形または合成ゴム系溶剤形接着剤(JIS A 5536 認定品)

■ライン幅木(樹脂)

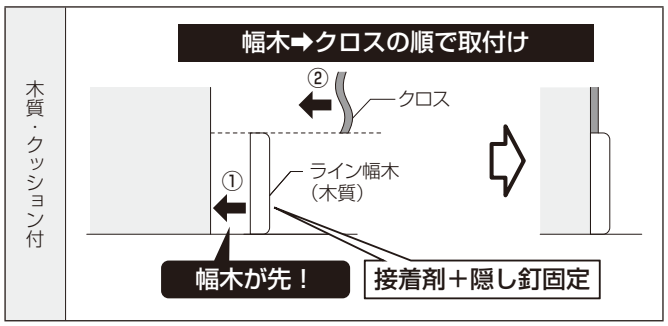
①壁面ボードに壁紙を施工します。
②壁紙の上から専用接着剤(現場手配)でライン幅木を張り付けてください。



ラフィス
ライン幅木(樹脂)
施工説明動画

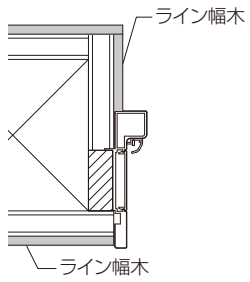
■ライン幅木(木質)/ライン幅木(クッション付)

①壁面ボードを施工します。
②ライン幅木の裏面全体に専用接着剤(現場手配)を塗布して張り付けてください。
③隠し釘、またはピンタッカー(200～300ピッチ)で固定します。

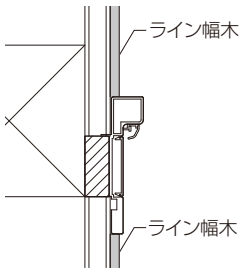


■ライン幅木の納まり

【平入納まり】



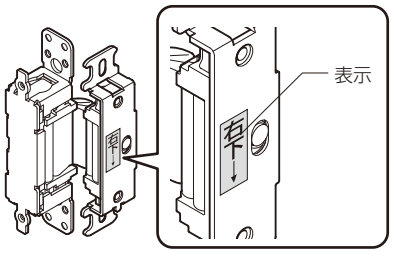
【両入隅納まり】



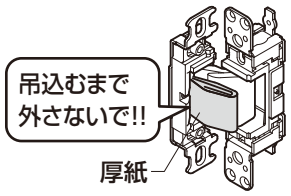
⑬丁番の取付け

丁番取付け上のお願い

●取付不良防止のため、下記事項をお守りください。
・部品裏面の表示で取付向きを確認してください。
※矢印が本体の下側を向くよう取り付けます。



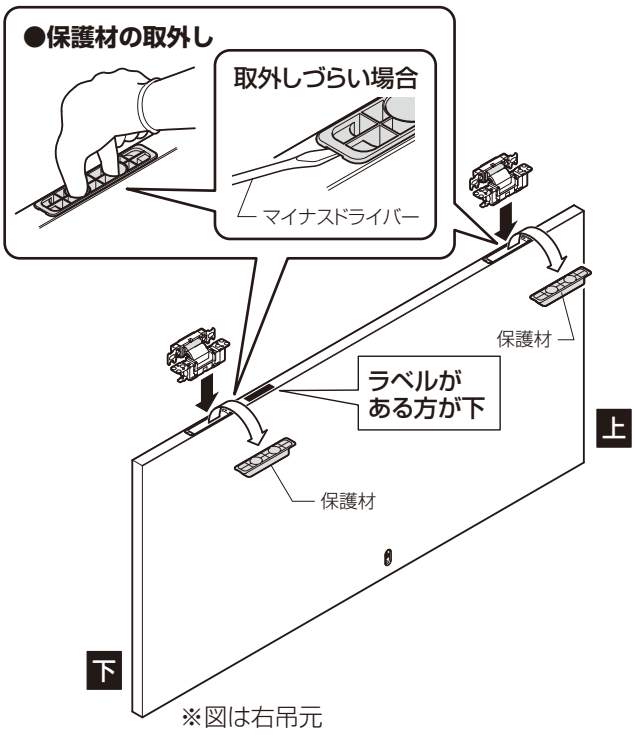
・本体吊込み前に厚紙を外さないでください。



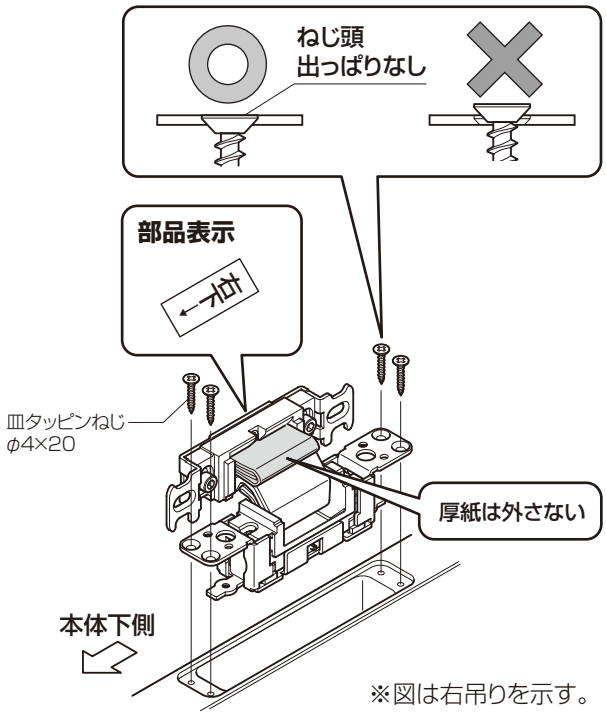
■部品セット明細

名称		数量
丁番 ※上下とも『下』表示の丁番です。	右下	2
本体側取付用 皿タッピンねじφ4×20		8

①ドア本体の丁番取付け部分に入っている保護材を取り外します。保護材は廃棄してください。
②ドア本体に丁番を同梱のねじで取り付けます。ドア本体は左右兼用のため、上下を確認して取付け向きを合わせてください。



●丁番の取付け

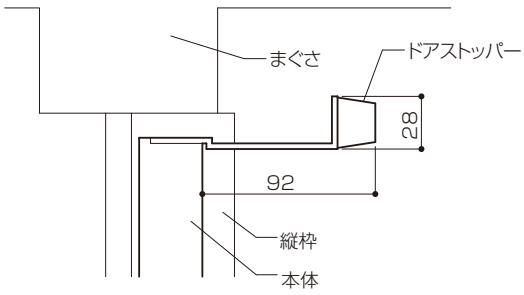


※図は右吊りを示す。

14 ドアストッパーの取付け（オプション）

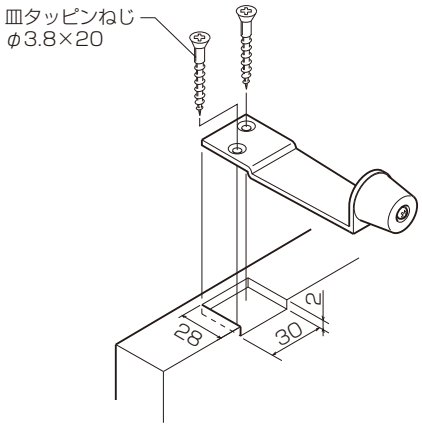
ドアストッパー取付け上のお願い

●天井納まりには取付けできません。
●ドアストッパーが当たる面に干渉するものがないことを確認してください。



●本体上部を切り欠き、現物合わせで下穴加工をして取り付けます。

■本体上部取付け



オプション品以外の市販のドアストッパーは取り付けできません。

15ドア本体の吊込み

⚠注　意

●丁番固定ねじはゆるみなく締め付けてください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。

ドア本体の吊込み上のお願い

●壁や天井の傷つきを防止するため、二人作業を推奨します。
●取付け不良防止のため、固定ねじはそれぞれ均等に締め付けてください。

■部品セット明細

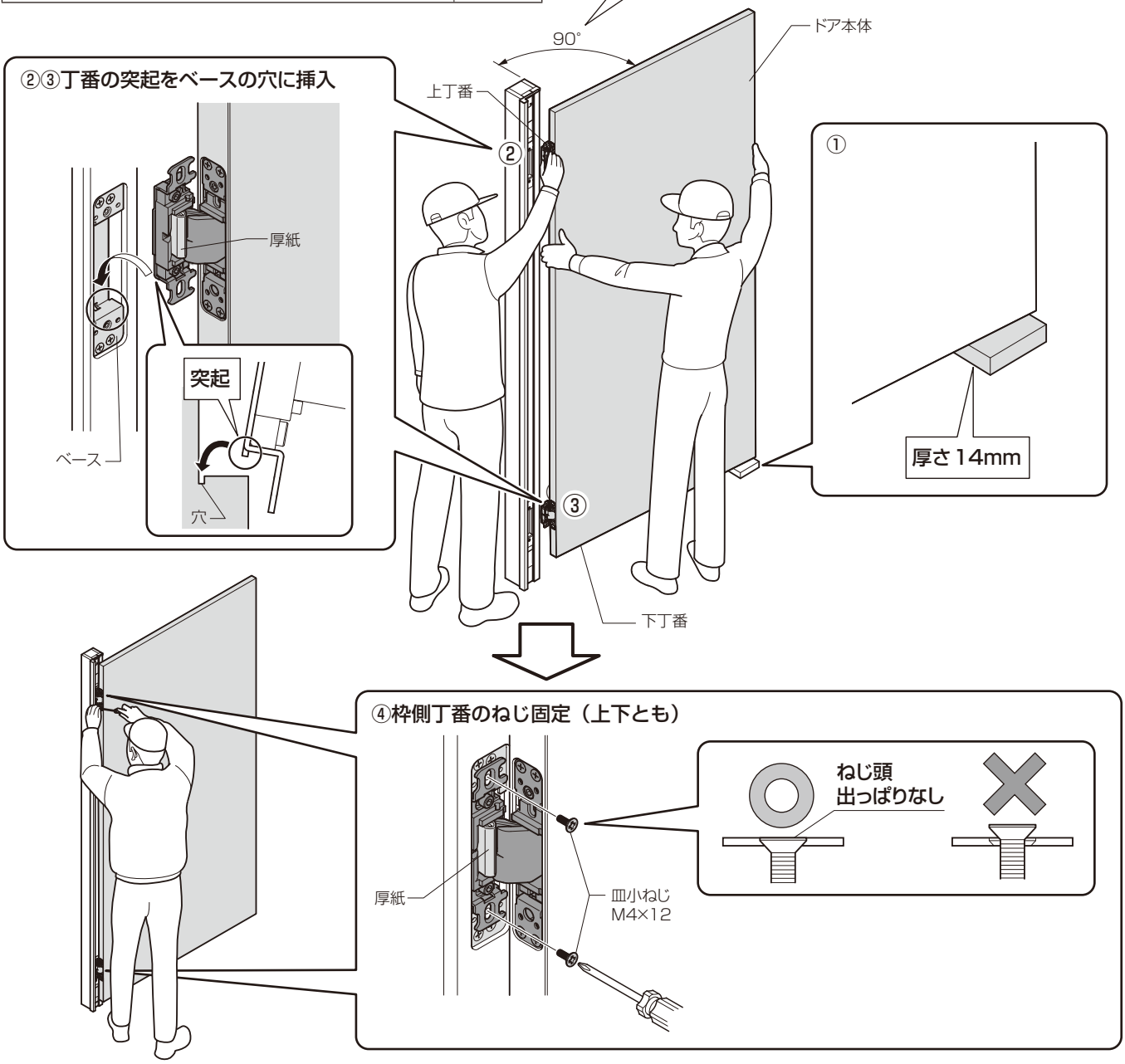
名称	数量
枠側取付用 皿小ねじM4×12	4

上➡下の順

①床に厚さ14mmのスペーサー（現場手配）を置き、その上に本体を載せます。
②上丁番の突起を枠のベース材の穴に挿入します。
③下丁番の突起を枠のベース材の穴に挿入します。
④枠側の丁番固定ねじを2本交互に少しずつ締め付けます。
※片側だけを先に固定すると、もう片方のねじ穴がずれる場合があります。
⑤下に挟んだスペーサーを外します。
⑥縦枠カバー材の仮固定マスキングテープをはがします。

取付けのポイント

・枠に対して90°で
・ドア本体を少し持ち上げ上丁番から
・天井、床の傷つき注意



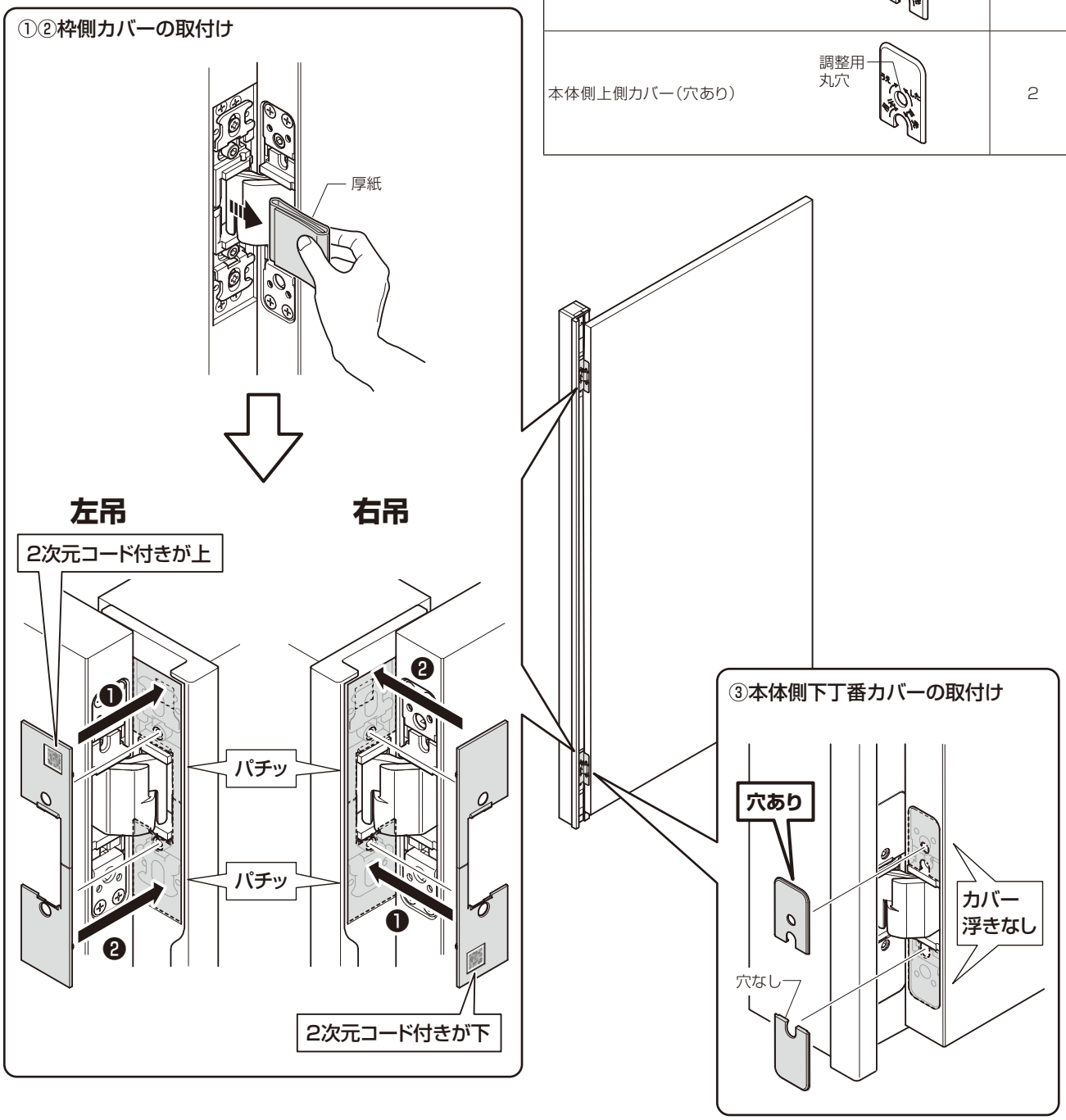
⑯枠側・本体側カバーの取付け

カバーの取付け上のお願い
●丁番・ドア本体破損防止のため、ドア本体が105°を超えて開かないようにして取り付けてください。

①丁番から厚紙を取り外してください。
②枠側カバーを浮きがないように取り付けます。
③本体側カバーを浮きがないように取り付けます。
※上側カバーのみ調整用の丸穴があいています。

■部品セット明細

名称	数量
枠側カバー（2次元コードあり） 2次元コード	2
枠側カバー（2次元コードなし）	2
本体側下側カバー（穴なし）	2
本体側上側カバー（穴あり） 調整用丸穴	2



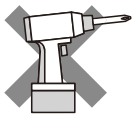
⑰建付け調整

⚠注　意

●ドア本体が脱落しケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・丁番固定ねじはゆるみなく締め付けてください。
・左右調整ねじを調整範囲を超えて戸先側へ回さないでください。

建付け調整時のお願い

●製品破損となるので、付属の六角レンチおよび、手回しドライバーで調整してください。



電動ドライバー使用厳禁

■部品セット明細

名称	数量
六角レンチ（〈〉呼び4）	1

※調整後は必ずお施主さまにお渡しください。

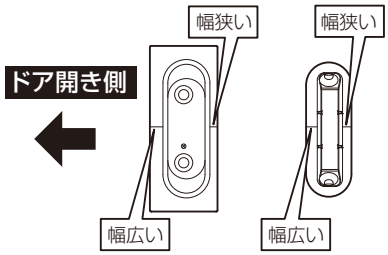
●標準状態のすき間寸法

●奥行調整（ラッチ側）

ストライク取付けピース、ストライクを上下反転させて取り付けることで4段階での調整が可能です。

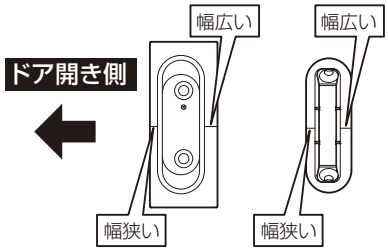
閉めた後に扉がガタつく場合

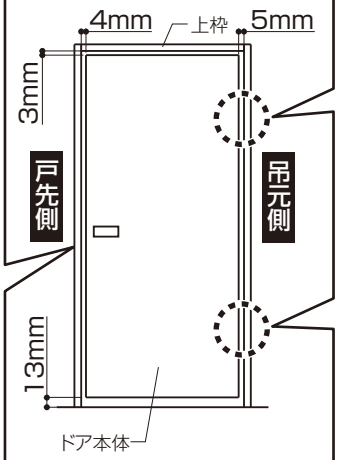
幅の広い方を開き側に向けて取付ける



ラッチがかからない場合

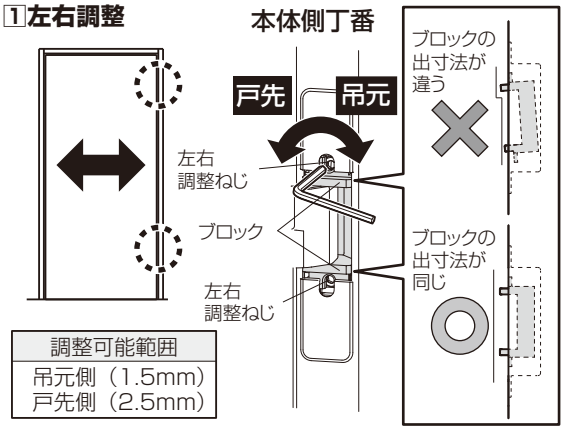
幅の狭い方を開き側に向けて取付ける





ドア建付け調整方法動画

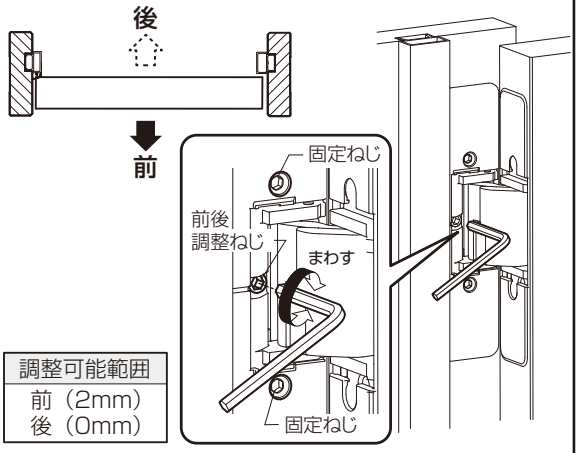
1左右調整



調整可能範囲
吊元側（1.5mm） 戸先側（2.5mm）

①2つの左右調整ねじを半回転ずつ均等に回してください。（ブロックの出寸法は同じにしてください。）
戸先側へは調整範囲を超えて回さないでください。

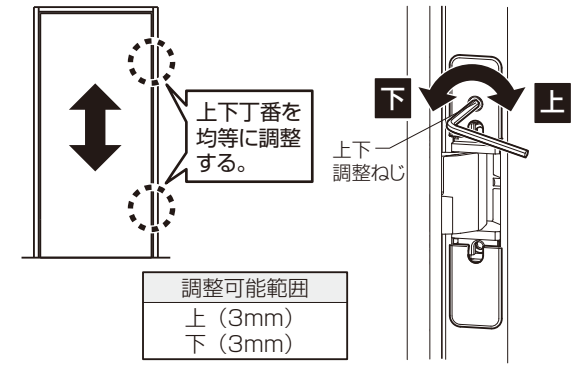
2前後調整



調整可能範囲
前（2mm） 後（0mm）

①固定ねじをゆるめてください。
②前後調整ねじを左右に回して、ドアを前後に移動し位置を決めてください。
③固定ねじをゆるみなく締め付けてください。

3上下調整



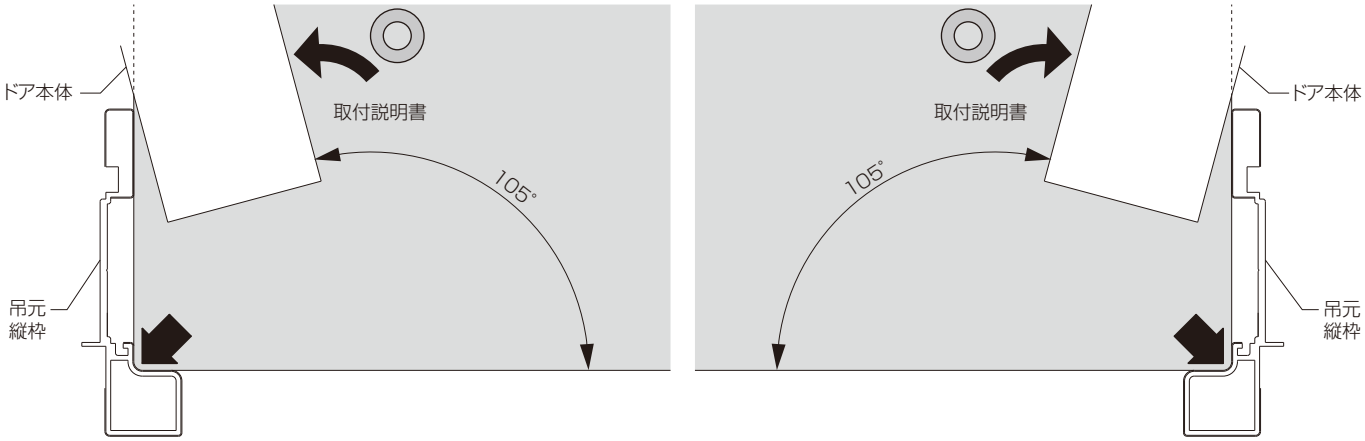
調整可能範囲
上（3mm） 下（3mm）

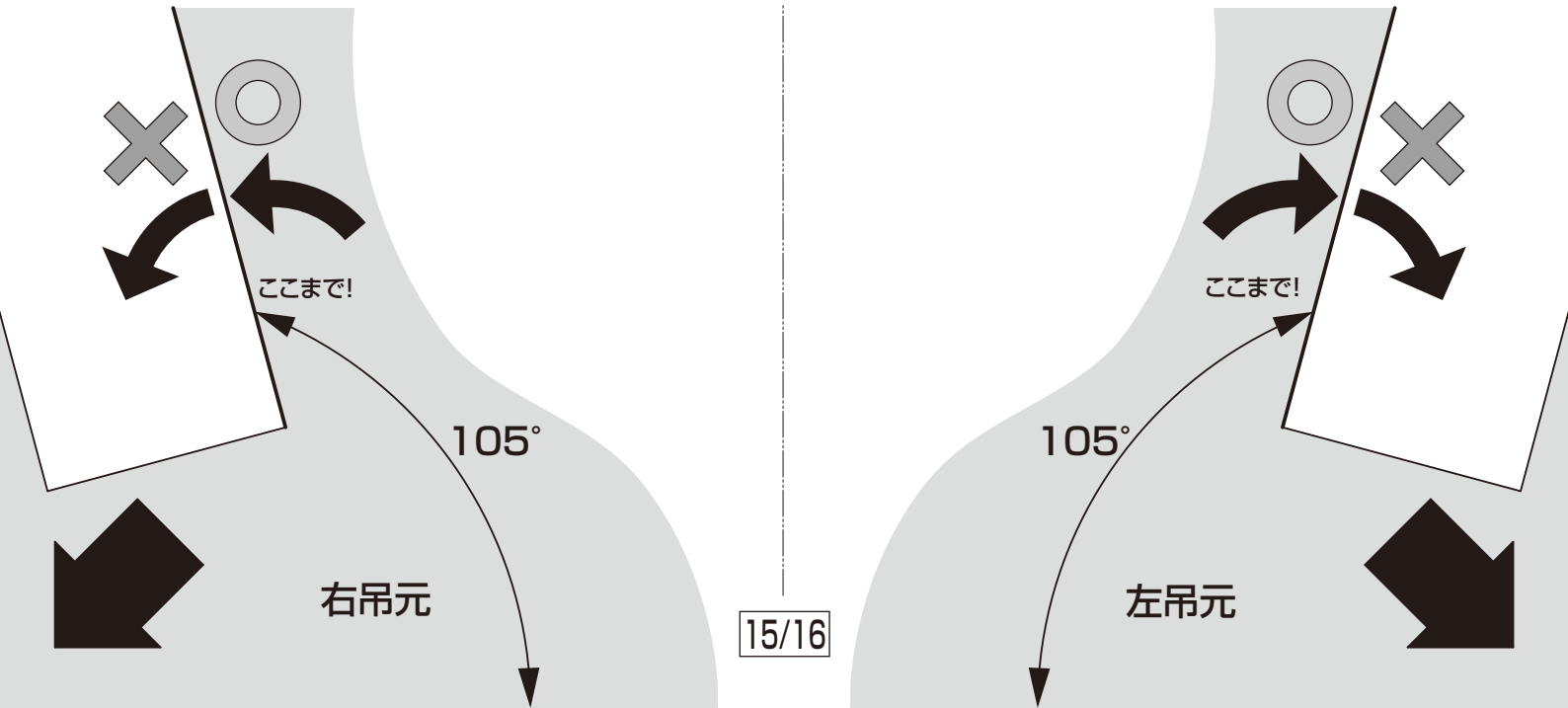
①本体側下丁番の上下調整ねじを回します。
②本体側上丁番の上下調整ねじを下丁番と同じだけ回します。
※上下調整は上下の丁番それぞれの調整ねじを少しずつ均等に回して行ってください。

18 ドアストッパーの取付け

ドアストッパー取付け上のお願い
●丁番・ドア本体破損防止のため、必ずドアストッパーを併用してください。（開き角度105°まで）

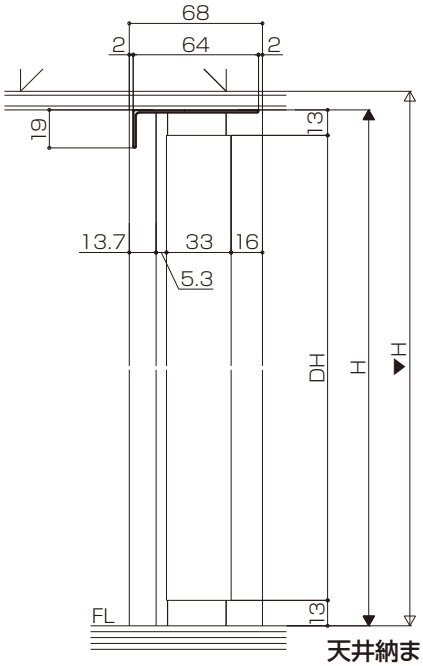
●図のように取付説明書を当てて、角度を確認してください。



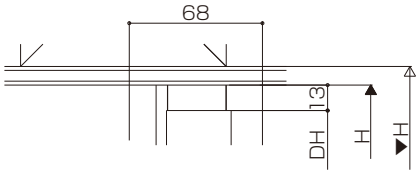


■納まり図

●縦断面図

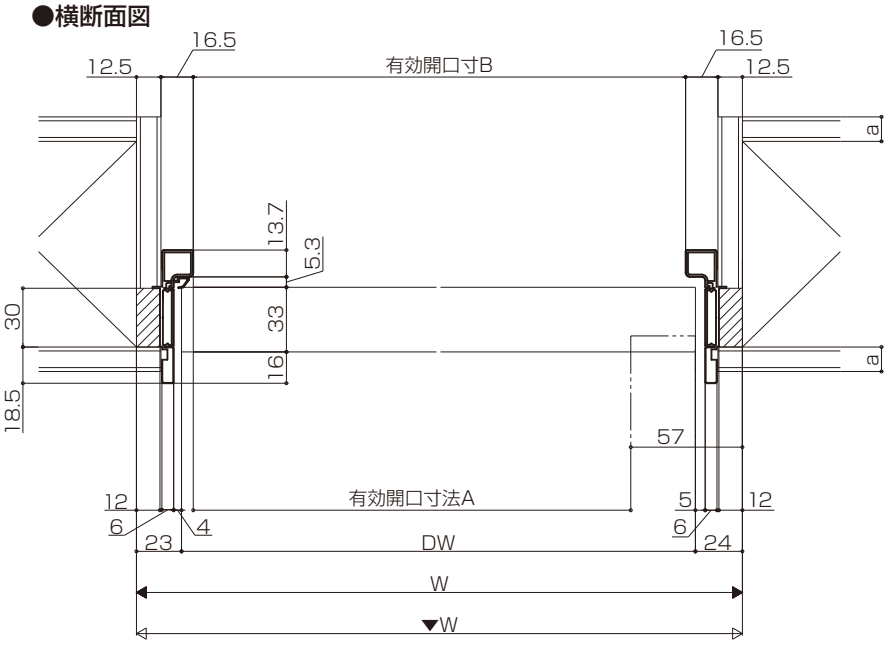


天井納まり【三方枠】

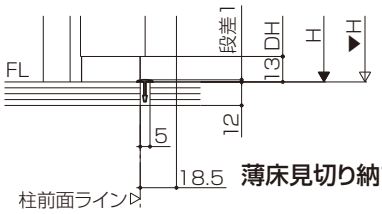


天井納まり【上枠なし】

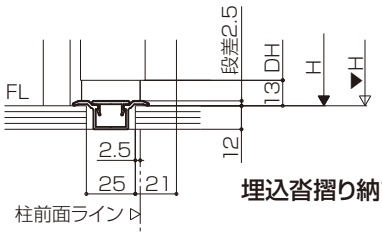
●横断面図



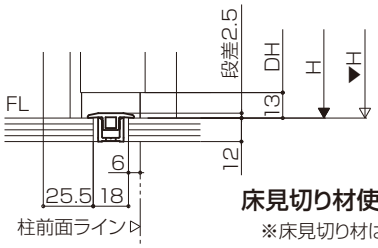
対応壁面ボード厚a：9.5mm、12.5mm、15mm



薄床見切り納まり



埋込沓摺り納まり



床見切り材使用

※床見切り材は別途手配が必要です。

有効開口寸法

W呼称（枠外寸法）	A寸法	B寸法
W055（648）	562	590
W06（734）	648	676
W065（754）	668	696
W07（805）	719	747
W08（824）	738	766
W09（868）	782	810

算出式：A寸法=W−86
算出式：B寸法=W−58
DW寸法=W−47